

# 工化時報

## ロンドン雑感

### ひもの長さを知ってるかい



油化シェルエポキシ株式会社

代表取締役社長 渡邊弘育

「7月中のロンドンの気候はこんなものですか」  
「日本から来た若い紳士よ、ひもの長さを知っているかい」

一九八八年七月から約三年のロンドン勤務はヒースロー空港から市内に向かうタイムラリムジンの運転手との会話ではじまった。女房、娘三人の前で日本ではばつとしなかつた親父の存在の回復を目論んだ私の簡単な質問に禅問答ならぬ難解な返事、不安な気持ちを増幅させるには十二分な答えだった。

入社後二六年、五〇才に手が届こうとしている時に初の転勤がともあるうにロンドン本社とは。社長から内示があった時は正直悩んだ。特に環境への順応および自分の能力に対して強い不安を禁じ得なかつた。本質的には典型的な日本人であるとの自信は持っていたし、またいわゆる国際感覚と言う見地からはまあ日本人の中ではいい線を描いているとの自信を持っていただけ事も事実だった。こ

発行所  
東京都千代田区  
神田駿河台1-8  
日本大学理工学部  
工業化学科内  
工化

編集委員会  
会長 渡辺 弘育  
副会長 伊藤 南島  
編集委員  
M1 藤野 浩一  
M2 小川 清  
M3 山崎 好子  
M4 田村 大樹  
M5 藤野 浩一  
M6 山崎 好子  
M7 田村 大樹  
M8 藤野 浩一  
M9 山崎 好子  
M10 田村 大樹

んな日本人が三年間どんな経験を、何を感じたかを以下に断片的に述べてみたい。特に小生よりは長い未知の将来を持つ後輩諸君の記憶に一部でも残れば幸せに思う。

①英語アレルギーを捨てよう。  
バックingham宮殿から七分の市街地のフラットに落ち着いてから数日後、レンタルテレビの送金のためにビクトリア通りのポストオフィスに出かけた。若い男の局員にプラスチック仕切板を通して目的を話し、必要な金額の切手に類するカードの購入を依頼した。彼の返事たるや「Do you speak English?」おもわず大声で「Speaking」と叫んだ。

数日後、ピカデリーサーカスへの買物に出かけようとビクトリア駅から例の赤いバスへ乗り込んだ。ピカデリーサーカス二枚、これが通じない。アクセント、イントネーションを変えてやってみたら全然ダメ。見かねて後の外人が助けてくれた。一言ピカデリーサーカスと言っ

オー、ピカデリーサーカス、運転手が切符をくれた。一体どうなっているのだ！上記の例は教養の無い(?)現地人との意志の疎通を欠いた例であるが、教養のある(?)現地の人達との Practical conversation には問題は無かつたと思

じている。四〇〇人余りの外人の中で唯一の日本人として、しかもシェルの化学品の世界戦略を立案すると言う部に配属されたが、一年後の上司との面接で、Conceptual English Knowledge を改善せよとの指示を受け、悔しいので密かに六ヶ月間夜間英語学校へ通つたりもした。職場で親しくなつたアルゼンチン人、フランス人、ドイツ人と小生の英語能力を比較する機会が良くあつたが、話すことに関しては優劣なし、聞く能力に関しては完全に負けた。ジョークに対する反応等でもアルゼンチン人よりも劣つていた。しかし、発音、文法、流暢さでは場合によっては小生が一番だった。

もしも後輩諸君の中で英語に対して強いアレルギーを持っている人がいたら、卒業までに最低それを捨ててほしい。強いアレルギーさえなければ社会人になつてからでもなんとかなるものだ。野球が特技で入社し、英語など全然だめだった男が留学生に選ばれて現在アメリカで勉強中など過去三〇年色々な例を社内で見つけた。ヒマをつくらせて夕方英会話学校へでも通えばこれは最高でしょうがね。

②文化の違いを知る。この大切さ  
プライベートな生活では特にこの違いによる決定的な苦勞は無かつたが、シエ

ル本社ではこれに起因する葛藤の連続であつた。例えば、自己表現に関して職場の上司、仲間から You should be more assertive と迫られるが、本人は約五〇年間、男は余りしゃべらな、沈黙は金だと躰けられてきた。仕事から色々な社内会議へ参加したが、会社の性質上〇ヶ国語くらいの人間が集まり英語で会合する。何か意見あるか等と声をかけてもらったことは二回程しか無かつた。上下、相手の立場等おさまいなしにひたすら自分の意見を述べる。

総じて出世に対しては野心的である。自己の存在を認めさせるためには、この種の会合は非常に大切である。彼等は下記のごとき常識を持っていた、すなわち  
・普通の頭脳の持主であれば、何か意見があるはずだ。意見があれば、それは発表されるべきである。  
・従つて発言の無い者は自分の意見を持たぬ無能な人間である。弁の立つ人間の中には有能な人間が多い。  
・沈黙を金とし、謙遜を美德として教えられた日本人として越えられないギャップを感じたことがしばしばあつた。しかしながら、日本人特有の恥の文化を含む文化の差を能力不足のシェルターとして利用したことは否定できない。

職場におけるチームワーク、役割分担の中の黒子の必要性等に関しても議論をしたが、発達した個人主義を基礎とする彼等のやり方と、会社を優先し、己れを殺し、時には不本意ながら妥協を繰り返して目的を達成しようとする日本人との間には大きな隔たりを感じた。

同じ人間なのだから話せばわかる等と余り安易に考えるべきではない。さりとて、異質なのだと決めつけることも間違いであろう。努力した上で違いを見いだし、その上でその違い、隔たりを少しで

もせよめようとしてお互いに努力すること。この努力が相互理解、相互信頼、友情の構築には不可欠だと思ふ。また、我々日本人にとって国際化の原動力だと思ふ。  
ロンドンの天候は一日に四季があると言われる程変わり易い。一言では答えられない、時には下らない質問に対して切り返しを喜んでよく使われる表現が How long is a piece of string? の由。  
最後に一言。外国を旅行される時には胸を張って街を歩いてほしい。そして、二つの言葉、Thank you と Sorry を気軽にはつきり言うことを心掛けてほしい。

### 廃棄物と安全

植竹和也

わが国では急速な経済発展に伴い、物質的に極めて豊かな社会が実現した。その結果、大量消費、使い捨ての生活が一般化して、産業、生活両面から排出される廃棄物の量的拡大および質的多様化が進み、環境汚染、埋立地確保等の難問が生じてきている。それらの適正な処理方法の確立、廃棄物の減量化、再資源化技術の確立が重要である。しかし廃棄物の質的多様化に伴う各種危険性を混在しているため、処理における安全の確保が重要である。上記の目的を達成するため一九九一年四月に日本化学会の分科会として「廃棄物と安全研究会」が発足した。小生も幹事の一人として参画しております。工化会OBで関心のある方は是非連絡、入会され、人と地球にやさしい環境づくりを目指し活動いたしませんか。



# 研究室 訪問

## 「飲むほどに苦しければ 自ら酒になれ」



化学工学研究室  
小島和夫教授

今回の研究室訪問は、化学工学研究室に小島先生をお訪ねしました。化学工学研究室は二号館二階の二二六号室と二二八号室、さらに一階二一五号室の三つの部屋を有しており、工業化学科内で最も大きな研究室の一つです。今回インタビューに応じて下さった小島先生の他に越智先生、栃木先生、そして栗原先生の四人のスタッフと、総勢四十名以上の院生、学部生が所属しています。



小島先生は、神奈川県東丹沢で生まれ旧制厚木中学を卒業後、戦時中の高倍率を突破され、日本大学に入学されました。しかしながら当時は、皆軍需工場で働かなければならず、常に生死を身近にとらえ、勉強しなければならぬような状況だったそうです。そしてこの時の経験が後の先生の考え方に大きな変化をもたらしたそうです。

卒業研究では、石油化学が脚光を浴びていた時分、自分でもやれそうだからという理由で、日本に紹介されて間もない分野であった化学工学を選択されました。大学に就職後、先生はたった一人で化学工学研究室を開設し、当時日本では誰も取り組んでいなかった「回分蒸留」についての勉強を始められました。その時の苦勞たるや大変なもので、当時は振り返り先生は「おっしょってしています」。

「大学で勉強はしていないし、満足に研究も出来なかつたから悩みが多かつた。海外の論文を手に寝ないで勉強しましたが自分には能力があるのかと疑問に思いながら研究を続けていた。毎日がこういう劣等感との戦いだつた。」

そうした先生を支えていたのは、文学や哲学、とりわけ詩集をお読みになること



越智先生

とでした。先生はたいへんな読書家で、本を一冊読むと、その著者が読んだ本をさらに読んでみるという風だつたそうです。リルケやパスカルに魅かれ、孤独についてじっくりと考えたりする一方で、恋愛の詩も随分読んだと少し照れながら話して下さいました。研究で苦しい時、孤独な時、「飲むほどに苦しければ、自ら酒になれ」というリルケの詩の一節をよく口ずさんだそうです。

こうして先生は、全還流拔去蒸留法を開発され、東京工業大学より学位を授与されました。次に気液平衡の研究に着手し、ここでは改良型オスマー平衡蒸留器を開発され、大きな反響を呼びました。その後も気液平衡に関する論文をいくつかが発表し、ASOG気液平衡推算法の体系化をなされています。現在では、相平衡を利用した平衡分離プロセスの基礎となる測定と推算を行っていることとです。

先生にとって研究するとはどういうことかとお聞きしたところ、二十代の自分に返ることだとおっしゃっていました。問題に対し、何もわかつていないんだという気持ちで取り組まないと、研究はできないそうです。

栗原先生 栃木先生



担当 学生編集委員

次回の研究室訪問は  
高分子工学研究室の予定です。

### 趣味のコーナー

#### 趣味の効用

青木繁樹



「趣味」という文字から受ける印象としては、品性を高めるような楽しみという高尚なものが感じられる。趣味とはそのようなものとするれば、私は無趣味になる。しかし、趣味を仕事以外の遊び、楽しみとすると、私は多趣味ということになる。高校時代からの遊びを列挙してみると、碁、将棋、ギター、写真、スキー、自動車、バイク、ラジコン飛行機、ゴルフなど色々なものを楽しんできた。この遊びの歴史を振り返ってみると、友達と楽しんだもの、子供と楽しんだもの、家族で楽しんだものなど、それぞれの思い出がある。私は、この遊びのお陰で、うらおいのある人生を歩かせてもらったような気がする。なお、これらの遊びの中には、ほんのさわりだけのもの、かなり突っ込んだものがあるが、本格的にやるには、たとえ一人で楽しめるものであっても、クラブに入った方がよいような気がする。学校を卒業した頃は写真に凝っていたが、カメラ屋に勧められて城西写真クラブの会員になった。このクラブでは二ヶ月に一回、先生(写真家)を招いて例会をやったり、撮影会を行ったりしていたが、その会に出席したお陰で大勢の人と知り合い、写真の方もカメラ雑誌に投稿したりと、かなり高いレベルにあり、充実した活動をした昔に比べ、現在はサークル活動が盛んである。好きなものがあつたら積極的に参加するとよい。楽しいだけでなく、自分をも向上させることができ、人生に大いにプラスになると思っている。



# 92就職最前線

## 「若い後輩への苦言・提言」

昨年は入社後数年の先輩方に就職活動に付いてのアンケートをお願いいたしました。今年ももう少し上の年代の先輩に最近の工化出身者についてお聞きしました。以下の設問に答える形でいろいろ書いていただきました。これから就職活動を始める諸君も参考になることと思います。

- ① 執筆者のお名前、年齢
- ② 会社名、業種
- ③ 工化出身の社員数
- ④ 先輩諸賢にくらべて最近の工化出身社員が変わった点や特徴など
- ⑤ 今後の工化からの入社希望者に期待すること。

- ① 鈴木 敏幸(四〇才)
  - ② 花王(株) 研究所
  - ③ 一〇名位(詳細は不明)
  - ④ 皆さん活躍されています。以前と比べて特に変わったとは思いません。
  - ⑤ 何よりも自信と誇りを持って下さい。与えられるのを待つよりも、自分で考え行動する若者は魅力があります。
- 私の職場は研究所で、毎年一名工化出身者が入社されます。主に大学院出身者が中心ですが、特に専攻(研究室)にはこだわりません。むしろ研究に対する取り組み方や心構えを重くみます。広い視野、柔軟性、行動力などがポイントです。

- ① 梅津 晴夫(四一才)
- ② 古河電気工業(株) 非鉄金属
- ③ 五名

④ 入学した一年生の時に学園紛争を経験することになりました。今、思い出せば恥ずかしくなるような発言や議論も当時は真面目な顔でしたものです。現代の工化出身者に限ったことではありませんが、自分の意思を明確になつていないような気がいたします。自分の考えがはっきりしていないうえに表現も十分でないために、何を考えているのか分からないといった誤解を招きやすい人を見受けまます。

- ① 細川 昭雄(四二才)
- ② 保土谷化学工業(株) 化学工業
- ③ 四七名。今年度、一六年振りに工化から、一名入社される予定です。
- ④ 就職難の風潮もなく、自分で会社を選択できる機会が多いのは、特に恵まれていると思う。
- ⑤ 歴史の繰り返しのようなのですが、自分の目標を、しっかりと持つこと。仕事で失敗したり、思い悩んだりする時こそ逆に自分を伸ばす機会であるから、冷静に周囲の意見に耳を傾けること。そして、時には、大学の研究室を再訪する様、望みたい。

- ① 弦巻 早子(二八才)
- ② 株 東芝(電気・半導体回路設計)
- ③ 不明(半導体事業本部内は六名)

④ 特に変わった点があるといった印象はありません。強いて言えば電機会社への就職はほとんど抵抗がないように見えることです。

⑤ 入社希望者はいつでも歓迎します。半導体のような業種でも材料やプロセスは物理化学の世界ですから化学系出身者はたくさんいます。ただ、新卒時の就職は大きなチャンスです。人事担当者が未経験者に喜んで面接してくれる時期はそうはありません。だからこそ自分のためにこの機会を大切に、あわてずじっくり考えて「やりたい仕事」を選んで下さい。

- ① 児井 敏雄(四三才)
  - ② 市川毛織(株) 工営事業部
  - ③ 一〇名
  - ④ 非常にまじめで努力家も多い反面、近年の社員にはマイペース型が目につくサラリーマンとはこんなものだ、と遠く離れたようにも見受けられる。
- この事は、近年の学卒者の増加も一因とは考えられるが、工業化学科を卒業したのであるから、高度の専門知識を身に付け又考える力も十分に備わっており、マイペースも大いに結構な事であるが、仕事全体を考える目をもって養って欲しい。

- ① 今成 浩志(四四才)
- ② 日本油脂(株) 化学品製造・販売
- ③ 約一〇名

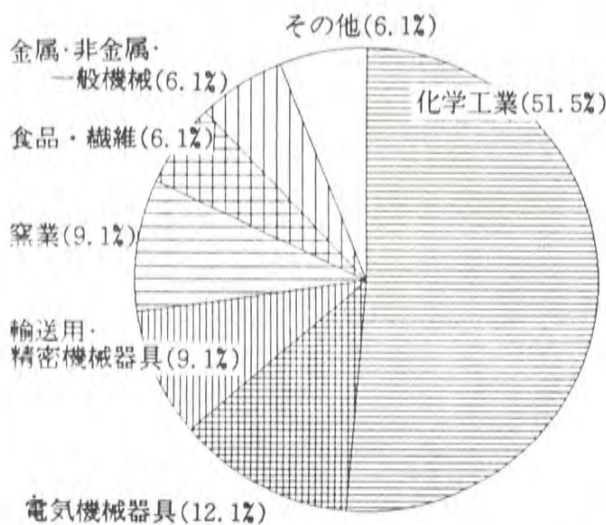
⑤ 仕事全体の流れ、方向を真面目に考えて、ここでなにかが必要、不必要かを選択し力を抜くところを見極めることが大切だと考える。

与えられた仕事をこなすだけでなくその仕事の意味を理解することが学卒者の価値につながっていると考える。

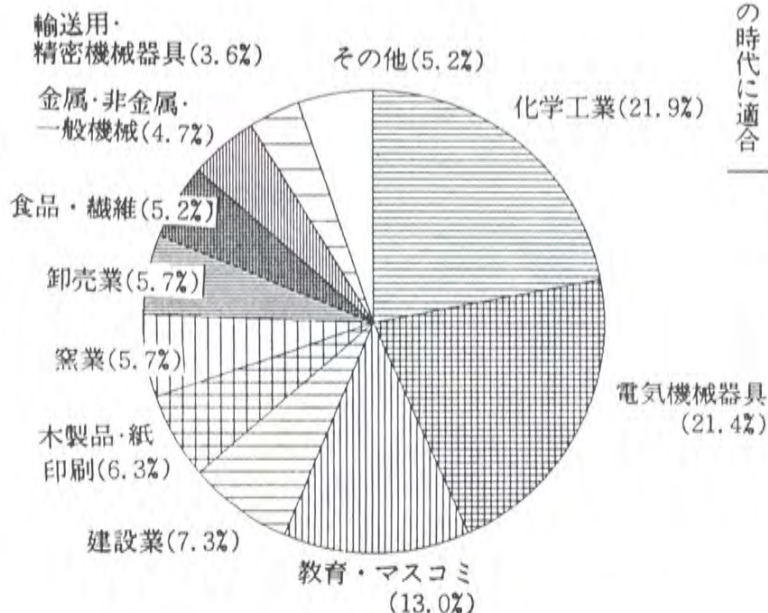
## 平成3年度分野別就職状況

④ 数年前からリクルート活動を行っていただきます。先生方より優秀な学生を紹介していただきました。私達の年代とかなりの年齢差がありますが個性豊かで職場内の評価は上々です。これからの時代に適合

大学院



学部



⑤ 国際化の時代を迎えて語学力のレベルアップが必要だと思います。今後も個性を大きく伸ばし入社後も目立つ人になって下さい。

していくでしよう。



# こっ、これが今どきの二号館だ!!

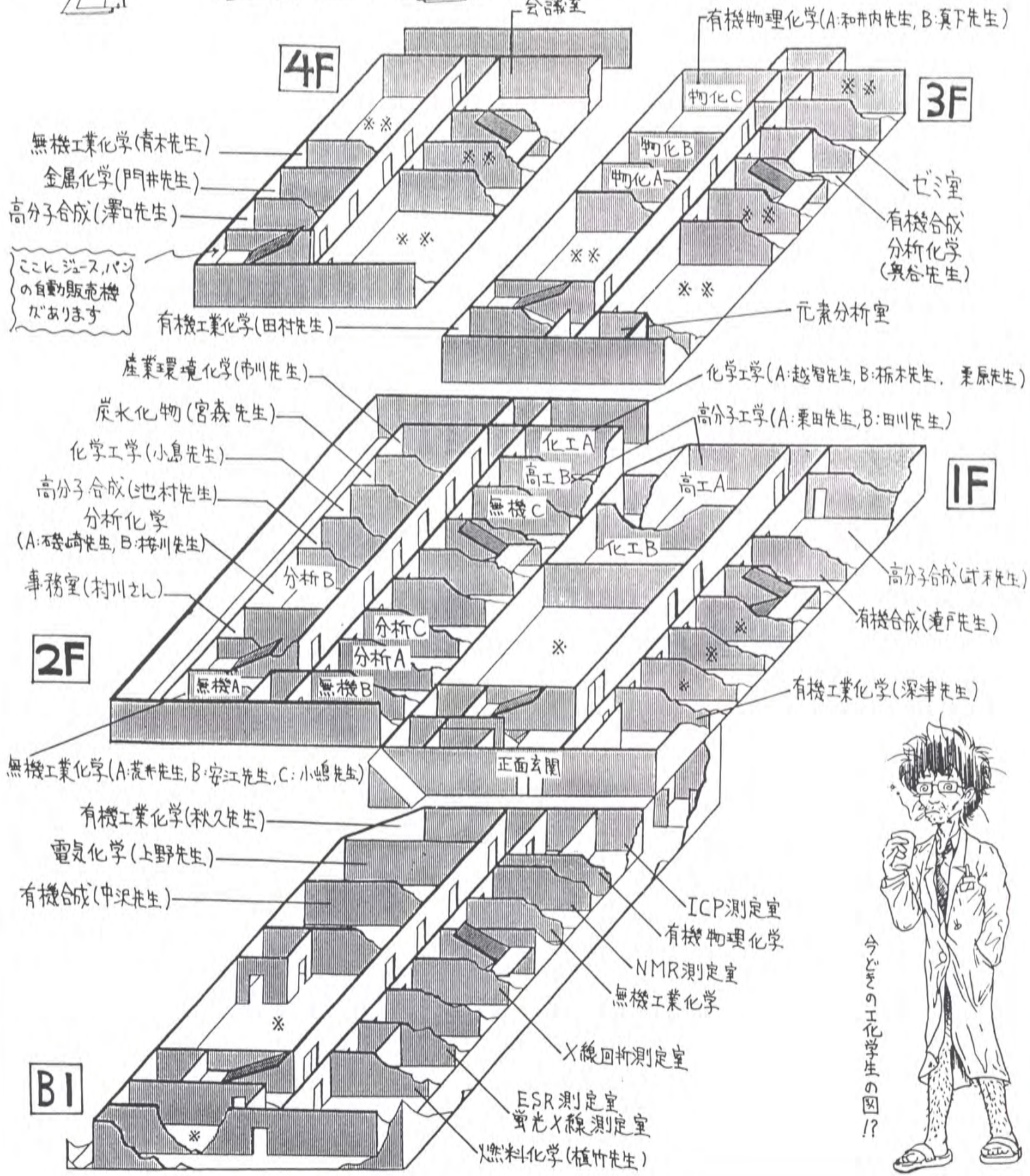
薬学科が薬学部になり習志野へ移転したので平成三年度より工業化学科が二号館に集結しました。ここに新しく生まれ変わった二号館を紹介します。



※……二年次生実験室  
※※……三年次生実験室

何も書いてない部屋は  
倉庫、変電室、コピー室  
応接室、守衛室等です。

イラスト：4年 深沢  
製作：4年 真野



今どきの工業化学の図!!